もせうし 議会だより

▲議員カフェ～フリートークinもせうし

おもな記事

◎第３回定例会
　一般質問　２～７ページ
　主な議案審議から　８～９ページ
◎第１回議員カフェ　１０～１１ページ
◎中央要望実行運動　１２ページ
◎議会のうごき　１３ページ
◎まちの声　１４ページ

No.205
令和7年11月14日
発　行

令和7年　第3回定例会
いっぱんしつもん

９月９日に、５名の議員から町行政に対する一般質問がありましたので、要旨をお知らせします。

滝本町長の今後の具体的な政策・施策について

Q 選挙用パンフレットにおいて、「妹背牛町の、将来を見据え持続可能な妹背牛町」のため６つの柱を掲げられていたが、具体的な政策・施策や町長としてどのような構想をお持ちなのか伺う。

A これまで職員として、そして副町長として取り組んできた第９次総合振興計画が基本となっており、町長という立場になっても自分がこれまで関わってきた計画を大きく変更する考えはない。

渡辺　倫代 議員

渡辺議員　滝本町長の選挙用パンフレット、討議資料において、「妹背牛町の、将来を見据え持続可能な妹背牛町」のため６つの柱を掲げられ、その柱にそれぞれ３つ、合わせて18の施策の方向性が示されていたが、具体的な政策・施策や町長としてどのような構想をお持ちなのか伺う。

町長　６つの柱についてはこれまで職員として、そして副町長として取り組んできた第９次総合振興計画が基本となっており、町長という立場になっても自分がこれまで関わってきた計画を大きく変更する考えはない。ただし、今後のまちづくりに効果的あるいは必要不可欠であるといった事業が生じた場合は、財源確保など慎重に判断の上、新たに取り組むことも考えている。

安心、福祉、医療の充実、高齢者福祉の関係については補助事業が前提となるが、老人保健施設りぶれに転倒事故防止を目的にセンサー付ベッドを購入する。また、子育て支援としてこども誰でも通園制度を令和８年度から実施する。次に、教育関係は、小中一貫教育の導入に向けて必要な人材の確保など、その準備に努めていく。また、安心、安全なまちづくりという面では、防災拠点の整備として役場庁舎改修のほか、りぶれ周辺の福祉施設におけるマイクログリッドの構築で災害時のレジリエンスを強化するとともに、カーボンニュートラルの推進に努めていく。持続可能な財政運営のうち、財源確保という面では、交付税措置の面でも有利な緊急防災・減災事業債及び緊急自然災害防止対策事業債が令和７年度までの時限措置であることから、オール空知、オール北海道を含め、その延長要請に努めていきたい。

妹背牛温泉ペペルリニューアル後の経営状況について

Q　リニューアルして1年半経つが、お客様の動向の変化はあったのか、また新たな反省点と課題は。

A　リニューアルから一定期間が経過し減少したものの、町内の利用者は増加している。サウナブームを追い風にしてイベントや情報発信を行いながら入館者を増やしていきたい。

佐々木　和夫 議員

佐々木議員　温泉についてはリニューアルして1年半になり、今年度の事業計画では入館者を14万5，０００人と掲げている。中身として、町内住民の方が2万5，０００人、町外の方が12万人と目標を掲げ、日々スタッフの皆様方が努力されていることと思う。

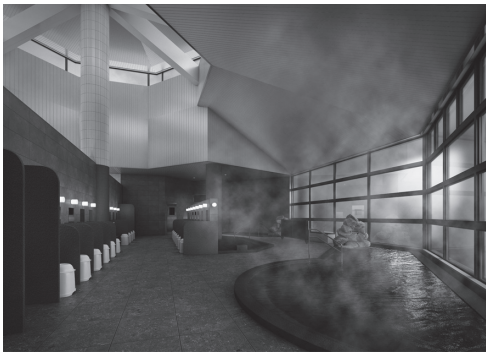
そこで、現在までの経営状況、お客様のペペル温泉に対する動向の変化はあったのか、また、新たな反省点と課題を伺う。

企画振興課長　令和6年度の総売上げについては1億7，４００万円で、決算については7千円の黒字となっており、町からの助成金の額については6，３００万円となっている。

令和7年度7月までの収支は総売上げが5，５００万円程度で、約１１０万円程度の黒字となっており、そのうち、町からの入湯税の繰入れが1，１００万円程度となっている。次に、入館者数の状況について、令和6年度は入館者数が約14万人、うち町民が2万1，０００人、町外者が11万9，０００人と町内の割合は約15・4％、町外者が84・6％となっており、1日の平均入館者数は、約４１３名となっている。令和7年度については、7月分までで、入館者数については4万7，５００人、そのうち町民が9，０００人、町外者が3万8，５００人で、町内の割合が19・1％、町外者の割合が80・9％となっており、1日の平均入館者数については、約３９０名となっている。

令和6年度と令和7年度の入館者数の比較については、令和7年度は6，９００人ほど減少している。また、町外利用者が約8，０００人減少している。リニューアルから一定期間が経過し、減少したものと考えている。町内の利用者は約1，１００人増加しており、こちらについては本年度から高齢者入館料助成事業の回数を50回から１００回に増やしたこと、町民全員に3枚の優待券をプッシュ型で配付したことで町内の利用者が増加したものと考えている。

温泉の将来については、町民の憩いの場でもあると同時に、地域外から人を呼び込む観光資源としての役割もあることから、現在サウナを推した施設となっているため、サウナブームを追い風にしてイベントや情報発信を行いながら入館者を増やしていきたいと考えている。



地域おこし協力隊（委託型）の活動について

Q　地域おこし協力隊の委託型について、任期満了後の定住に向けて、町として具体的にどのようなサポートをしていくのか

A　毎月面談を行っており、それぞれの飲食店起業に向かって進捗状況の確認や相談を受けながらアドバイスなどを行っている。定住促進支援事業も併用しながら支援していく。

佐々木議員　地域おこし協力隊の委託型について、今年6月に着任された地域おこし委託型の協力隊員の方々に続き、

この８月に沖縄から新たに委託型の協力隊の方が親子で妹背牛町に来られた。

この方々の活動計画や３年間の任期満了までのスケジュールが役場のほうに提出されているかと思う。両者ともに任期満了後の定住に向けて、町として具体的にどのようなサポートをしていくのか伺う。

協力隊員竹島さんのキッチンカー

企画振興課長　協力隊員の活動報告については、設置要綱に基づき地域活動に従事した日々の活動日報を作成いただき、翌月10日までに活動日報及び月報を提出してもらっており、その活動内容を精査し、適正と認めた場合に活動の対価として委託料を支払うものとしている。各隊員とは毎月面談を行っており、それぞれの飲食店起業というミッションに向かって進捗状況の確認や相談を受けながらアドバイスなどを行っている。２組とも任期３年以内での起業を目指しており、任期満了後も定住し、地域内で飲食店を継続して営業していけるように定住促進支援事業も併用しながら支援していく。

妹背牛町における観光協会の設立について

Q　イベントの維持、拡大をするために観光協会を設立する可能性について考えを伺う。

A　設立する場合、メリットの検証や関係機関との協議も必要と考えるが、当分の間は関係機関、そして町民と連携しながら観光の振興に努めていく。

鈴木　正彦 議員

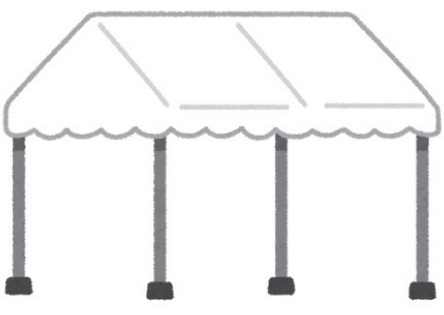
鈴木議員　人口減少対策としては定住人口を増やすことが第一であると考えるが、同時に交流人口の増加も必要と考える。町民まつりが町内最大規模の祭りと位置づけられており、新たなイベントとしてスノフェスも開催されてきたが、運営費の減少やスタッフの高齢化など多くの課題を生じており、スノフェスについては現在開催されていない。

そこで、イベントの維持、拡大をするためにも令和４年第２回定例会で観光協会について質問させていただいたが、行政主導ではなく民間の盛り上がりが必要との答弁があった、数年が経過し、状況も随分変化したと思うが、町長の考えを伺う。

また、現在イベントで使用しているテントがかなり老朽化しているが、安全性も含めて更新等の考えを伺う。

企画振興課長　観光協会とは、自治体と営利を目的とする民間との中間的な存在として公益的な観光事業を推進する目的で設立されているものであり、町が立ち上げを推進するものではなく、組織の構成員となり、支援する立場にあると考えている。

観光協会の設立には目的、財源、人材の３つが不可欠で、特に維持のための財源確保が最大の課題となる。常設の観光協会を立ち上げるよりもイベント単位でプロジェクトチームや実行委員会で動く現在のスタイルのほうが効率的で現実的と考えている。まずは、商工会と町で連携をして議論を深めていくことが重要と考えている。



テントについて、本町では17張所有しており、破損していないので、引き続き使用していく。社会福祉協議会で所有しているテントは８張りあり、23年が経過している。破損しているものや紐が切れているものがあり、利用できなくなるまで利用し、廃棄する予定。テントの数は充分足りており、追加購入はしない予定。再度テントを点検し、破損しているテントを確認した

いと考えており、今後数が足りなくなれば追加で購入を検討する。

町長 現状では、町、企画振興課や商工会あるいはＪＡなどが観光協会の役割を担っているものと考えている。観光協会の設立に当たっては、そのメリットの検証など関係機関との協議も必要と考えるが、当分の間はこれまでと同様、町をはじめ関係機関、そして町民と連携しながら観光の振興に努めていく。

町内イベントの今後と6次産業化の推進について

Q 農協青年部、商工青年部の意見交換の場を作ることや、両組織の協力体制構築や事業連携をサポートし地場産品の活用やＰＲを行っていくことを考えているか伺う。

A 両青年部が連携できるよう、意見交換の機会の創設を含めて町としてどのような支援ができるかを今後検討していきたい。

佐藤　主税 議員

佐藤議員 令和2年から令和7年7月現在にかけて農協青年部は36人から25人に減少。商工会青年部は16人から11人に減少しており、各行事への協力も年々厳しくなってきているなどの課題を抱えている。

①農協、商工青年部が町の行事に関することや産業振興について意見交換する機会をつくること、また両組織の協力体制構築から事業連携、さらには地場産品の活用やＰＲを行っていくことを考えているか伺う。また将来的な6次産業化への取組について考えているか伺う。

②現在近隣市町においても担い手不足によるイベントの終了や縮小、見直しなどが検討されている。今後の妹背牛町におけるイベントの方向性について考えを伺う。

③ふるさと納税の返礼品について、ジンギスカンがあったかと思うがどのような経緯で削除になったのか。また、返礼品の決定はどのように行われるのか。農業者や商工業者から意見を聞いて取り入れたものはあるか。また今後農協青年部や、商工青年部など各団体等から意見を求めながら、返礼品の選定を行っていく考えはあるか。

企画振興課長 ①農業後継者が生産したものを商工業後継者が加工、販売などにつなげるなど、互いに補完し合い、地域経済の強化や新しい商品、サービス、新たな産業の創出により雇用の場の確保や移住定住、地域のブランド力向上につなげていくことは理想的である。まずは地域の若手や後継者の皆さんの声をしっかりと聞きながら、そのような協力の形が現実的で有効かを検討していきたい。

②商工青年部や農協青年部をはじめとする地域の方々には、これまでも祭りの運営を担い、地域を盛り上げていただいている。本町としては現状の規模を基本的に維持しながら、地域力をさらに高めていくことを基本姿勢としており、その上で、担い手不足に対応するために新しい手法を検討していきたい。現状の規模を維持していくことが難しくなった場合には、一部プログラムを工夫し、時間短縮などで簡素化することやイベントの複合開催など無理のない持続可能な形で継承していきたいと考えている。

③ふるさと納税の基準が厳格化され、原材料が妹背牛町を含む道内産でなければならなくなったため。本町の二五八漬けのもと、米子ちゃんを使用しているが、ジンギスカンの加工地が本町ではないため返礼品として認められなくなった。返礼品のラインナップについてはもちろん町のものを重点的に扱うなど、返礼品の要件に当てはまるものは広く活用していきたい。

農政課長　①農業者と商工業者が連携しての6次産業化の動きについては、町が主導して推進するに至っていないのが現状である。ただし、これまでも地元農産物を活用した特産品の製造、販売は地元農業者の女性メンバーを中心に行われている。特産品については、農業者が主体となっているもの、町が主体となっているものの様々であるが、今後ともそれぞれ自発的に取り組めるような進め方がよいのか、各組織が連携した取組がよいのか、さらには支援の在り方についても検討していく。

町長　6次産業化については、その加工品への付加価値だけではなく、使用する地元の農産物にも付加価値がつくといった相乗効果も期待でき、農産物自体のPRにもつながるものと考える。農協青年部、商工青年部の連携が図られ、地元農産物を活用した商品開発に取り組めるよう意見交換の機会の創設を含めて、町としてどのような支援ができるかを今後検討していきたい。

学校体育館へのエアコン設置について

Q　近年の夏の暑さのため体育や部活動で利用を控える学校が増えているなど、教育活動にも障害が生じている。この点についてどうお考えか伺う。

A　エアコン設置については必要性を理解しているが、役場庁舎など公共施設へのエアコン設置や改修工事などを計画中であることから、今後財政状況と国からの支援を注視し検討を進めていく。

田中　春夫 議員

田中議員　地球温暖化の影響から、北海道でも記録的な高温になるなど暑さによるリスクが高まっており、7月にはカムチャツカ半島付近での地震による津波からの避難中に熱中症の疑いで搬送されるなどの例が起きている。文科省は、子供の学習と生活の場であるとともに、災害時は避難所として活用される学校施設・設備の避難所機能を強化するため2024年度補正予算で空調設備臨時交付金779億円を創設した。これについてどのようなお考えか伺う。また、空調が設置されていない学校体育館は、近年の夏の危険な暑さのため体育や部活動で利用を控える学校が増えているなど、教育活動にも障害が生じている。この点についてどうお考えか伺う

総務課長　近年の北海道内における気温は過去では考えられないほど上昇しており、住民生活にも大きな影響を及ぼしている。当町においては緊急性を鑑みて、昨年、ほかの施設に先駆けて小中学校校舎の各教室及び職員室にエアコンを整備した。避難所に指定されている小中学校体育館、総合体育館については、暑さ対策が十分とは言えない状況にある。エアコン設置については必要性を理解しているが、現在役場庁舎など公共施設へのエアコン設置や改修工事などを計画中であることから、今後財政状況と国からの支援を注視し検討を進めていく。また、小中学校は統合を予定しているのでそれも含めて総合的に判断したい。

生活保護世帯のエアコン設置に対する支援について

Q　猛暑によりエアコンは、生活必需品と考えられているようになっているが、生活保護世帯がエアコンを購入するときの支援制度について伺う。

A　生活保護世帯へのエアコン購入に係る町独自の助成制度は現状無い。

田中議員　妹背牛町のエアコン工事の支援の状況について伺う。猛暑によりエアコンは、生活必需品と考えられているようになっている。厚生労働省も熱中症対策のためエアコン設置に関する事業を推奨しており、歌志内市では、65歳以上の高齢者世帯へのエアコンの購入設置費用補助の制度

がある。静岡県焼津市では、住民税非課税世帯の高齢者や障がい者向けに購入費の半額、上限５万円の補助が行われている。生活保護世帯がエアコンを購入するときの支援制度について伺う。

健康福祉課長　生活保護世帯へのエアコン購入に係る町独自の助成制度は現状無い。エアコンを含め、日常生活に必要な生活用品については保護費のやりくりによって計画的に購入していただくことを原則としつつ、特別な事情がある場合には一時扶助の基準内においてエアコン購入費用の支給が可能としている。

議会だよりに対する、ご意見、ご要望は

議 会 事 務 局 へ

ＴＥＬ 0164-34-8586（直通）

ＦＡＸ 0164-34-8587（直通）

◎12月定例会のお知らせ◎

会　　期　１２月１６日～１７日

一般質問　１２月１６日

９時からの予定です

場　　所　役場３Ｆ　議場

議会は公開されています

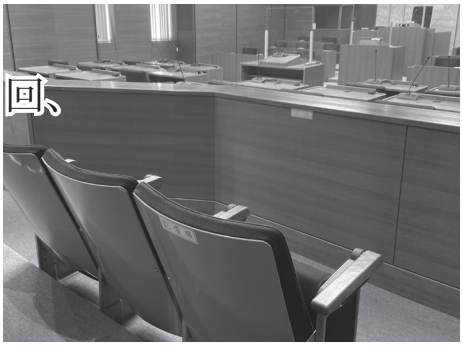
定例会は3月、6月、9月、12月の年４回、臨時会は必要の都度開かれます。

傍聴の方法は２つ

１．役場３階議場の傍聴席で

２．役場１階のモニター中継で

お気軽に傍聴してください



令和７年 第３回定例会
主な議案審議から

令和７年第３回定例会では、町長の行政報告、教育長の教育行政報告を行い、承認１件、報告２件、人事案件２件、決算認定７件、議案９件、意見書１件が審議され、９月９日（1日間）で閉会しました。

委員会構成

８月24日に当選した佐藤主税議員の委員会構成は次のとおり決定しました。

▽**常任委員会委員の選任**
総務厚生常任委員会委員
佐藤主税

▽**行財政等調査特別委員会委員の選任**
佐藤主税

専決処分の承認

▽**令和７年度一般会計補正予算（第４号）**
主な補正は
○選挙事務従事手当
40万円追加
○選挙費用の公費負担金
１０９万４千円
等で、歳入歳出それぞれ３９４万７千円の追加が承認されました。

専決処分の報告

▽**損害賠償の額を定めること**
▽**令和７年度一般会計補正予算（第５号）**
○事故の内容　令和７年１月20日、町道の拡幅作業において除雪専用車が雪に埋もれていた墓塀に接触し破損させたもの。
○損害賠償
37万1千８００円

人事案件

▽**教育委員会教育長の任命**
教育委員会教育長に廣澤勉氏（１区22）を再任することに同意しました。

▽**教育委員会委員の任命**
教育委員会委員に中易利則氏（２区）を再任することに同意しました。

決算の認定

▽**令和５年度決算認定**
①一般会計
②国民健康保険特別会計
③後期高齢者医療特別会計
④介護保険特別会計（保険事業勘定）
⑤介護保険特別会計（サービス事業勘定）
⑥簡易水道事業会計
⑦農業集落排水事業会計
以上７会計の認定は決算審査特別委員会に付託し、閉会中も引き続き審査することに決定しました。
同委員会の委員長には赤藤議員、副委員長には鈴木議員が選任され、10月20日～23日までの日程で審査が行われました。

規約の変更

▽**北海道市町村総合事務組合規約の変更**
▽**北海道市町村職員退職手当組合規約の変更**
▽**北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更**
江差町・上ノ国町学校給食組合の解散に伴い、規約の一部を変更するもの。

条例の改正

▽**職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正**
人事院規則の改正に伴うもの。仕事と育児の両立支援制度の利用に関して、本人の意向確認等を行う制度を設けるための改正。

▽**職員の育児休業等に関する条例の一部改正**
部分休業の取得形態柔軟化及び、第２号部分休業を追加するものなど。

補正予算

▽令和7年度一般会計補正予算（第6号）

補正の主なものは、

○人口ビジョン改訂支援委託
275万円追加

○医療給付システム改修委託
165万円追加

等で、歳入歳出それぞれ2，279万6千円を追加しました。

▽令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

補正の主なものは、

○総合行政システム改修委託
108万7千円追加

○償還金
71万9千円追加

等で、歳入歳出それぞれ187万2千円を追加しました。

▽令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

補正の主なものは、

○総合行政システム改修委託
175万2千円追加

等で、歳入歳出それぞれ175万2千円を追加しました。

▽令和7年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）

補正の主なものは、

○償還金
55万4千円追加

等で、歳入歳出それぞれ60万円を追加しました。

意見書

▽国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

以上、意見書1件については、原案のとおり可決され、各関係機関へ提出されました。

令和7年第2回臨時会

第2回臨時会は、7月28日に招集され、発議1件が審議されました。

人事案件

▽妹背牛町長職務代理者妹背牛町副町長の退職

以上、1件ついて、原案のとおり可決されました。

常任委員会の活動

8/25 経済文教常任委員会

経済文教常任委員会において、北空知水道企業団浄水施設を視察しました。浄水処理の仕組みや非常用の発電設備など施設の概要を説明していただきました。

第１回
議員カフェ～フリートークinもせうし

令和７年８月３０日

妹背牛町のことについて、気軽に話し合う場として『議員カフェ』を開催いたしました。当日は３４名とたくさんの方に参加していただきました。ありがとうございました。

いただいたご意見ご質問などについて、町の各担当課から回答をしていただきました。紙面の都合上一部とはなりますが、内容を掲載させていただきます。

◎議会関係

―議員カフェについて、今後どれくらいやるのか

回答 年に2回は実施したいと考えている。

回答：妹背牛町議会

―町政懇談会では言えないこともここでは話しやすい、来てよかった、もっと色々な年齢の方が参加しやすいよう続けてほしい

回答 ご指摘に気を付けながら、町民の皆さんが来ていただけるような議員カフェとなるよう努力する。

回答：妹背牛町議会

―議員定数について、今の人数で妥当なのか

回答 人口減との関連や次期の選挙などを逆算して、議会改革で、今後も協議していく。

回答：妹背牛町議会

◎ペペル関係

―サウナについて、アピールが不足している、１００℃の日は増やせないか、米里のバイキングを増やすのはどうか

回答 現在は幅広い利用者が安全に楽しめる温度に設定している。高温サウナの日は定期的に開催しているので、お楽しみいただきたい。

米里のバイキングについては、イベントで年に数回実施していきたいと考えている。

回答：企画振興課

―飲食物の持ち込み規制について緩和してはどうか

回答 リニューアルを機に現在の体制にさせて頂いた。近隣の同様の施設においても、持込が出来ない状況。レストランのご利用かレストランがお休みの日には、キッチンカーで購入いただいたものは持込ができるよう対応している。

回答：企画振興課

◎町づくり関係

―祭りについて、これからでも新しいものが仕掛けられるのではないか

冬のイベントを考えては

回答 祭りのアイデアを頂けると幸いです。

回答：企画振興課

―米の町民割引があってもいいのでは

回答 お米に限った町民割引ではなく、国の物価高騰対策交付金の中で検討をさせていただきたいと考えている。

回答：農政課

―特産品の開発を考えては

回答 新規に取り組む場合は開発コストや販路確保、継続的な需要見込みなど多くの課題がある。現状では町単独では新規開発は難しいと考えており、既存の特産品の磨き上げや販路拡大を優先に検討していきたい。

回答：企画振興課

―行政はいろんな助成をしているが、そのアピールが足りないのでないか

回答 ホームページや広報誌に掲載されていても見つけにくいなどの声もある。移住定住施策については他町などにチラシを配布している。助成事業をまとめたチラシもあるので、わかりやすくＳＮＳなどを活用しＰＲしていきたい。

回答：企画振興課

―公助ばかりを求めないで、自助と共助を皆で考え、最後に公助という考えを持つべき町長・議員・職員・町民みんなでという意識改革を

回答 町民皆様方の意識がそちらの方向に向いていただけると大変ありがたい。町民の皆様方にそう言った考え方に向かっていただけるよう啓発活動が出来ないか検討したい。

回答：総務課

―郷土館の維持と将来どうするのか、デジタルでの保存もありでは

回答 文化財保護委員の意見を参考にしながら、デジタル化の保存も含め、あらゆる可能性を模索していく。

回答：教育委員会

◎生活関係

―町内の循環バスを再考してほしい

回答 掛かる経費の課題や、利用者の減少などもあり、廃止になった経過があるため、再開・維持することは難しいと考えている。お買い物おもてなし事業の活用や、福祉で実施している助成をご活用いただきたい。

回答：企画振興課

―屋根の雪下ろしを依頼するのが難しくなってきている

回答 建物が低い車庫や物置などの屋根の雪下ろしについては、高齢者事業団でも依頼を承っているが、住宅の屋根については、業者へ依頼していただきたい。

回答：健康福祉課

―合葬墓（合同墓）の建設はどうなっているのか

回答 現段階で町民からの要望は数件であるため、合同墓（合葬墓）の建設については検討していない。なお、近年のお墓に対する考え方の変化などを踏まえ、第10次総合振興計画策定時には、町民アンケートの項目として確認することも必要と考えている。

回答：住民課

―小中学校の建設について、今後議会はどのように考えているのか

回答 あらゆる可能性を排除せずに、２０３８年（令和20年）に向けて協議をしていく。

回答：妹背牛町議会

―町内会再編について、行政主体で動くということは出来ないのか

回答 区長会においても、農家地区の再編について協議をしている状況。地区によって事情が違うため、今後どのように進めるか検討中。市街地区について、前回の再編検討時にも話があったが、それぞれ住んでいる方々の意向が重要であり、行政が区割りを行っても、住民同士の協力と理解が無ければ、再編後の町内会の活動に問題が生じると考えている。既存町内会同士の意識を優先にしたい。

回答：総務課

◎福祉・介護関係

―高齢者の移動について、バスの助成の増額を望む、買い物バスや病院バスが出来ればいいと思う

回答 バス・タクシー助成券については、R7年度より1万円から1万5千円へ増額している。妹背牛診療所へ通院する場合には、診療所にて送迎サービスも実施しているので、ご利用いただきたい。

回答：健康福祉課

―通院等に対する交通問題について、タクシー券等は、生活費に負担が重くのしかかるので、もう少し優遇制度を考えてほしい

回答 現在、タクシー券の使用枚数については、お買い物おもてなし事業と同じ金額設定をしている。次年度に向けて、深川の病院への通院利用については使用できる枚数を増やすなど、検討していく。

回答：健康福祉課

◎ふるさと納税関係

―ふるさと納税の返礼品の妹背牛のお米をもっとアピールしてはどうか

回答 現在15のポータルサイトに掲載を行い、RPP広告、雑誌、SNS等で発信を行っている。総務省のルールもあり、かけられる経費にも限りがあるため、ご理解いただきたい。

回答：企画振興課

中央要望実行運動

地方自治体の要望を国に直接伝えるために、当地区選出の衆議院議員や北海道選出の参議院議員の事務所、さらに各省庁等を訪れ、地域の実情に沿った中央要望実行運動を行いました。

～空知町村議会議長会中央要望実行運動～

空知町村議会議長会では、8月4日～6日、空知管内の議長14名で、要望書を提出してきました。

空知地方の厳しい現状の中で、町村がそれぞれの地域と道央圏の発展に向けて重要な広域的・管内的課題等を集約し、地域経済と住民生活の自立を目指すための提案と要望を次のとおり提出しました。

神谷裕衆議院議員へ要望書提出

【要望書の内容】

○地方行財政の安定的な運営の確保・充実
○地域のくらしを支える医療・健康施策の充実
○子どもが元気に暮らせるまちづくり
○力強い食料生産地域の確立をめざして
○競争力のある農業へ～農業DXの推進
○地域の新たな未来をつくるゼロカーボン戦略
○道央地域の広域的な交通網の整備
○地域住民の生命と財産を守る治水対策の充実
○中心市街地と都市基盤の整備
○ごみ処理施設の環境整備及びプラスチックごみ処理の推進
○地域を支える鉄道ネットワークの確立

～北空知議会議長連絡協議会中央要望実行運動～

北空知議会議長連絡協議会主催の中央要望実行運動が、8月6日～8日の日程で行われました。1市4町の議会から各2名ずつ10名の議員団で、本町の議会からは中山議員、小林議員が団員として参加しました。

【要望書の内容】

○農業の振興及び農業農村の整備について
○地域医療体制の充実確保について
○生活交通路線の確保について

の三項目の要望書を提出しました。

神谷裕・武部新・東国幹・中村裕之・鈴木貴子・伊東良孝衆議院議員、長谷川岳・船橋利実・高橋はるみ・岩本剛人・橋本聖子・徳永エリ・横山信一・東野秀樹・鈴木宗男・岸真紀子・勝部賢志参議院議員に要望書を提出しました。

神谷裕衆議院議員へ要望書提出

この後、農林水産省より水田活用の直接支払交付金や米価の動勢などについて研修をしていただきました。

また、国会議事堂において視察研修をしました。

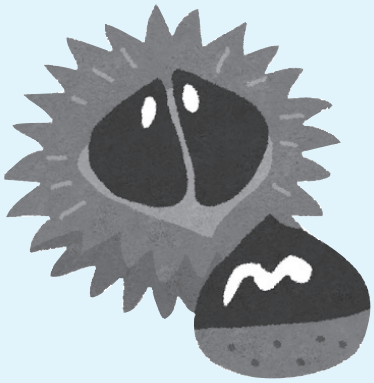
議会のうごき

8月

3日　もせうし夏まつり
4日～6日　空知町村議会議長会中央要望
6日～8日　北空知議会議長連絡協議会中央要望
12日　もせうし豊年盆踊り大会
19日　議会広報研修会
25日　総務厚生常任委員会
経済文教常任委員会
30日　保育所運動会
議員カフェ

9月

2日　敬老会
3日　議会運営委員会
9日　町議会第３回定例会
広報特別委員会
25日　議会改革特別委員会
妹背牛町まち・ひと・しごと創生会議



10月

1日～3日　北空知議会議長連絡協議会道外先進地行政視察
4日　収穫感謝祭
8日　広報特別委員会
20日～23日　決算審査特別委員会
22日　広報特別委員会
24日～25日　空知町村議会議長会定期総会
27日　広報特別委員会

議会は公開が原則です

・定例会は、３月・６月・９月・12月の年４回開かれます。
・臨時会は必要のつど開かれます。
・傍聴の方法は、役場３階議場の傍聴席か１階のモニター中継
どうぞお気軽に議会を傍聴しましょう。

町民参加コーナー

まちの声

今回の「まちの声」は、高城政喜さんからお話をお聞きしました。

Q 妹背牛町は住みやすいですか？

A 生まれてからずっと妹背牛に住んでいて、他がわからないが満足している。

Q 議会だよりについての要望や意見はありますか

A 一般質問を各議員さんがしていますが、質問がどう町政に反映されているのか知りたいです。

Q 妹背牛町への要望や何かお気づきの点はありますか

A ペペル温泉の改修後、サウナは好評のようで（特に町外の人に）いいと思います。料金も現在の価格でいいと思いますが、もう少し働く人たちが笑顔で接してほしいと感じます。

Q その他何かありますか？

A 今回の議員カフェに参加できませんでしたが、次回はぜひ参加したいと思っています。

Q 議会だよりは読んでいただいていますか

A 毎回読んでいます。

編集後記

実りの秋も終り、冬支度の季節となりました。町民の皆様には色々とお忙しいことと思います。

選挙により滝本昇司町長と佐藤主税議員が誕生し、期待と新鮮な緊張の中に第3回定例会が開催されました。廣澤勉教育長再任への同意議決に始まり、一般質問は5名。このほか本年度一般会計補正予算案などを原案通り可決し閉会しました。

議会改革特別委員会により皆さんの声を聞く機会として企画した議員カフェ～フリートークｉｎもせうしをわかち愛ひろばで開催しました。34名と多数の参加有難うございました。いただいた貴重なご意見については町部局と共有し、また、議論を十分に重ね改革にも活かしていきたいと考えています。

今後も議会だよりを通じて議会活動をお伝えしていきます。

広報特別委員会

委員長　中山　義博
副委員長　佐々木和夫
委　員　鈴木　正彦

発行～妹背牛町議会
編集～広報特別委員会
〒079-0592　北海道雨竜郡妹背牛町字妹背牛5200番地
☎（0164）34-8586